

実態調査結果の報告について

1 調査の目的・調査種類・項目・回収率・調査方法

目的	「第三期三鷹市障がい者（児）計画」（計画期間令和6～8年度）を令和5年度に策定するにあたり、市民の福祉サービスの利用実態や福祉に関する意識、意向などを把握し、計画の基礎資料とすることを目的として実施した。					
調査対象 (調査種類)	18～65歳未満の障がい者等※	18歳未満の障がい児等※	入院中の精神障がい者	施設入所者	医療的ケア児・者	高齢障がい者
対象者数	2,222人	401人	189人	123人	40人	219人
	合計 3,194人					
調査項目	(ア) 福祉サービスの利用状況や利用意向、日常生活や社会参加の現状と課題、災害時対策、差別、権利擁護等		(イ) 現状や将来の生活などの地域移行の意向	(ウ) 福祉サービスの利用状況、ケア提供者の状況等	(ア) と同じ項目	
回収率	37.7%	47.4%	41.8%	78.0%	77.5%	43.8%
調査方法 調査期間	郵送方法：郵送により実施。（一部Web回答可） 調査期間：令和4年9月から10月に2回に分けて実施 ※障がい福祉サービス事業所については、令和5年1～2月に実施					

※身体・知的・精神の各障害者手帳所持者、自立支援医療(精神通院)受給者、難病医療費助成受給者

2 主な調査結果（「第二期三鷹市障がい者（児）計画」の重点課題について）

① 情報提供

情報の入手方法について
障がい者調査では、1位「広報みたか」(28.7%)、2位「インターネットやSNS」(25.0%)、障がい児調査では、1位「友人や知人」(36.3%)、2位「広報みたか」(31.6%)でした。
情報入手やコミュニケーションで困ること
前回調査と同様に「難しい言葉や早口で話されるとわかりにくい」(者23.5%・児34.2%)「話をうまく組み立てられない・質問できない」(者21.7%・児49.5%)「複雑な文章表現がわかりにくい」(者17.7%・児41.6%)の3つが上位に上がりました。

② 就労の促進

障がい者の就労に必要なこと
1位「多様な働き方が広がること」(51.4%)
2位「雇う側の理解が進み積極的に雇うこと」(50.7%)

③ 地域移行

退院にあたって心配なこと
1位「現在の病気のこと(病状、服薬、病院等)」(57.4%)
2位「住む場所のこと」(23.4%)、3位「家事のこと」(21.3%)でした。
「住む場所のこと」「家事のこと」が心配な人の割合は前回調査より減少しています。

④ 障がい児支援

放課後等の過ごし方
1位「外出はあまりせずに自宅にいる」(40.5%)、2位「障がい福祉施設に通う」(31.1%)、3位「保護者と一緒に出かける」(6.8%)でした。
前回調査より「障がい福祉施設に通う」の割合が増加しています。
参加している地域活動・行事について
参加している地域活動・行事については、「趣味や娯楽の活動」(16.8%)「障がい者関係の活動や行事」(4.7%)「町内会や自治会の活動や行事」(4.7%)でした。「趣味や娯楽の活動」への参加は前回調査より1ポイント増えました。最も多いのは「ほとんど参加していない」(70.5%)でした。

⑤ 地域での生活のしやすさ

外出時などに困っていること
1位「特に困っていることはない」(40.1%)、2位「歩道が狭い、道路に段差が多い」(16.4%)、3位「他人との会話が難しい」(15.9%)でした。
希望する暮らしをするうえでの心配
障がい者調査では、1位「健康に関すること」(50.2%)、2位「生活するための資金」(46.7%)、3位「障がいの状態に関すること」(32.0%)でした。
障がい児調査では、1位「仕事に関すること(就職、復職)」(68.9%)、2位「生活するための資金」(59.5%)、3位「人間関係(家族、友人、隣人など)」(57.4%)でした。
将来、主に介助・援助している人(家族など)が先に亡くなったり、高齢になって介助が難しくなったりした時に備えて、何か準備をしていますか。
1位「特に準備していない」(73.4%)、2位「準備はしていないが家族等と話し合っている」(15.2%)、3位「具体的に準備している」(5.3%)

⑥ 相談支援

相談できる人
障がい者、障がい児調査ともに、「家族・親戚」が第1位でした。
相談で困ること
「特に困ることはない」と回答した方は、障がい者調査では、38.9%、障がい児調査では28.9%いました。次いで「相談しても満足 of いく回答が得られない」(者22.6%、児30.5%)「どこ(誰)に相談したらよいかわからない」(者18.2%、児28.9%)でした。

⑦ 災害対策、緊急時対応※

災害時の準備をする上で、困っていること
1位「備蓄を保管するスペースがない」(24.9%)、2位「備蓄を用意する経済的余裕がない」(21.5%)、3位「何を用意すればいいかわからない」(20.0%)でした。
「特に困っていることはない」と回答した方は20.3%でした。
避難所での生活に必要な支援について
1位「救援物資の配給(72.5%)」、2位「プライバシーの確保(57.8%)」、3位「医療的ケアが受けられる設備の確保(36.7%)」でした。

⑧ 共生社会の実現※

差別や嫌な思いをしたことがあるか
「特になかった」(59.4%)でした。前回調査より2ポイント増えています。
「よくあった」「少しあった」と回答した方は、32.3%でした。
前回調査より5.4%減少しています。
余暇活動としてしたいこと
1位「買い物」(49.8%)、2位「旅行」(43.6%)、3位「映画館や文化施設・レジャー施設」(43.0%)でした。前回調査より「買い物」の割合が増加しています。

3 三鷹市が今後重視すべき取り組み

● 障がい者調査（回答者数：837人・複数回答）

取り組み	人数
障がいのある人もない人も理解し協力すること	412人
障がいのある人への差別や偏見をなくすこと	381人
要介護になった時に生活できる場所の確保	365人
安心して医療を受けられるようにすること	362人
障がいのある人への相談窓口を充実させること	334人
企業で働けるように支援すること	333人

● 障がい児調査（回答者数：190人・複数回答）

取り組み	人数
障がいのある人もない人も理解し協力すること	122人
障がいのある人への差別や偏見をなくすこと	108人
企業で働けるように支援すること	101人
個性を生かした保育や教育を進めること	98人
自立のための暮らし体験ができる場があること	95人
自立して暮らせるようにすること	90人